

様式第 3

会 議 録

会 議 名	平成 3 0 年度第 3 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	議題 1 専門部会の委員について 2 専門部会からの報告等について
日 時	平成 3 1 年 3 月 1 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 0 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階大会議室
出 席 委 員	委 員 小林 公平 委 員 鈴木 美由紀 委 員 野村 祐一 委 員 田中 洋介 委 員 清本 健二郎 委 員 上坂 悟 委 員 堀口 美千代 委 員 加藤 満子 委 員 大野 祐子 委 員 中村 義光 委 員 吉岡 靖二 委 員 安藤 剛行 委 員 吉田 利恵 委 員 鈴木 宏昌
欠 席 委 員	委 員 岡田 吉郎 委 員 柄澤 隆一 委 員 金剛寺 守 委 員 柳下 信雄 委 員 倉前 博幸 委 員 荒木 なおみ 委 員 内村 浩二郎 委 員 石毛 雄司 委 員 富山 勝之 委 員 宇田川 克巳 委 員 中代 英夫 委 員 小林 利行 委 員 戸邊 卓哉 委 員 矢部 雅彦
事 務 局 等	直井 誠 (保健福祉部長) 蟠原 芳幸 (障がい者支援課長補佐兼計画係長) 齋藤 剛 (障がい者支援課相談支援係長) 伊原 誠宏 (障がい者支援課障がい者福祉係長) 原田 陽子 (障がい者支援課計画係主査) 小島 繁樹 (障がい者支援課計画係主任主事) 森本 晃司 (障がい者支援課計画係主任主事) 池田亜由美 (保健センター子ども支援室長) 花里圭一郎 (人事課人事研修係長)
傍 聴 者	無し
議 事	平成 3 0 年度第 3 回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。

加藤満子会長	平成31年3月1日午後1時30分開会。28人の委員のうち14人が出席し、野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会設置要綱第6条第2項により本協議会が成立していることを報告。本協議会の公開、傍聴は、先の決定のとおり公開と決定されている。なお、本日の傍聴人はなし。会議録作成のため録音機を使用することの了解を得た。 <（手話を交えて）挨拶>
加藤満子会長	議題1「専門部会委員」について事務局から説明を求める。
障がい者支援課相談支援係長	議題1「専門部会委員」について説明する。 （相談支援専門員のうち藤康平氏が塚本博義氏に交代するため、塚本博義氏の推薦、また、地域生活支援拠点事業を実施予定の法人の高峰啓三氏の推薦を諮る）
加藤満子会長	議題1「専門部会委員」について質問や意見はあるか。 <委員から質問や意見無し>
加藤満子会長	事務局の説明のとおり、本会委員が推薦することとしてよろしいか。 <委員了承>
加藤満子会長	議題2「専門部会からの報告等について」各部会長から報告を求める。 報告者は、相談支援部会は堀口美千代委員。就労支援部会は柄澤隆一委員が欠席のため事務局。子ども部会は小林公平委員。権利擁護部会は鈴木美由紀委員
堀口美千代委員	相談支援部会は、今年度3回開催し、それぞれの相談支援専門員が抱える事例を検証した。また、相談支援専門員が受ける相談も幅広く多岐にわたり、先ほどの議題1にもあったが、来年度は、社会福祉法人円融会にも相談支援部会に参加いただき、いろいろ協力してもらいたい。 また、相談支援部会に、会長に出席いただき感謝する。
加藤満子会長	相談支援部会で、モニタリングのプレゼンテーションは大変良かった。
障がい者支援課相談支援係長	就労支援部会長は欠席なので、事務局で報告する。 今年度3回開催し、就労継続支援B型事業所の工賃額向上や、障がい者の就労状況について、また、特別支援学校卒業後の進路、障害者就業・生活支援センターの支援、地域活動支援セン

小林公平委員	ター利用等の見地から意見を交換した。 先ほどの議題 1 にもあったが、市内の就労継続支援 A 型事業所及び、新設の就労継続支援 B 型事業所等の就労支援部会への参加についても話し合った。 子ども部会は、特に就学前の児に対し、どのようにしてサービスに結び付けるかの意見交換や、子ども部会には様々な関連機関が出席しているので、役割分担や、役割分担が重複すること等について意見交換をした。 また、子ども支援室の新規事業である巡回訪問について説明を受けた。
加藤満子会長	子ども支援室の新規事業である巡回訪問の発言があった。本日は、保健センター長の代わりに子ども支援室長が出席しているので、後ほど説明をお願いする。
鈴木美由紀委員	権利擁護部会も今年度 3 回開催し、市報の「みんなで支えるバリアフリー」の掲載報告と、初めての試みとして、成人式において本日の配布している『「障害者差別解消法」をご存知ですか』のチラシを配布した報告があった。 また、1 月に発生した野田市内の残念な事件についても意見交換があった。 権利擁護部会は、障がい者を身近で感じてほしいので、今後も野田芽吹学園で開催していきたい。
加藤満子会長	議題 2 「専門部会からの報告等について」 質問や意見はあるか。
吉岡靖二委員	権利擁護部会への提案です。聴覚障がい者は、要約筆記者を情報保障として利用できる。野田市内には聴覚障がい者が 400 人ほどいるが、全てに聴覚障がい者が要約筆記者を利用していないように感じている。権利擁護の点から、聴覚障がい者は、要約筆記者を利用できる権利があり、利用を促す案内をしてほしい。
障がい者支援課長 補佐兼計画係長	事務局から回答します。情報保障の件について 3 月 1 号の市報「みんなで支えるバリアフリー」において掲載をしている。 聴覚障がい者への支援は、補装具制度において補聴器の購入や修理ができる。野田市においても、年間で約 50 件以上の補聴器に関する申請があり、補聴器の利用に合わせて、必要に応じて要約筆記を利用してほしい。
加藤満子会長	その他として、事務局から説明を求める。

池田亜由美子ども支援室長	子ども支援室の新規事業である巡回訪問、併せて子ども支援室の職員体制等を説明する。 (資料配布あり)
加藤満子会長	「子ども支援室の新規事業である巡回訪問について」について質問や意見はあるか。 ＜委員から質問や意見無し＞
障がい者支援課長 補佐兼計画係長	千葉県医療的ケア児等支援地域協議会で傍聴した内容（重症心身障害児者及び医療的ケア児等の実態調査中間集計結果）を説明する。
加藤満子会長	「千葉県医療的ケア児等支援地域協議会で傍聴した内容」について質問や意見はあるか。
吉岡靖二委員	重症心身障害児者に関連して、柏市にある東葛医療センター光陽園という施設の状況について、説明してほしい。
障がい者支援課長 補佐兼計画係長	東葛医療センター光陽園については、千葉県と東葛6市が、定期的に協議の場をもち、入所者の状況や経営状況について報告や協議を行っている。現在、野田市の方は、18歳以上が5人、18歳未満が1人入所している。
加藤満子会長	事務局から、その他でほかにあるか。
障がい者支援課長 補佐兼計画係長	11月29日、本協議会において意見等を頂いた第3次野田市障がい者基本計画について、12月5日から1月4日までパブリックコメントを実施し、1月24日に野田市障がい者基本計画推進協議会を開催し、本協議会の意見を添えて、野田市に答申をした。また、野田市は、2月14日に市の計画として決定し印刷製本の準備を進めている。 野田市の高齢者及び障がい者に対するホームヘルプ事業、居宅介護を実施している。高齢者は平成12年度から訪問介護事業所として、障がい者は平成15年度から居宅介護事業所としてです。当初は、民間事業所が少なかったことから、市が主体となり事業所を開設していた。現在は、高齢者は30か所、障がい者は15か所の民間事業所があり、ホームヘルプサービスの提供体制が整ったので、市の役割は終了したものと考え、事業所の廃止手続きを進めている。 相談支援事業所について、医療的ケア児等への障害児相談支援（計画相談支援）対応可能事業所と、精神障害のある方への計画相談支援対応可能事業所について、市内事業所を説明する。

加藤満子会長	事務局の説明について質問や意見はあるか。
清本健二郎委員	その他（資料１）重症心身障害児者及び医療的ケア児等の実態調査中間集計結果の資料を見て、法人の障害者支援施設において、医療的なケア児者の利用について、今後考えていかなければと感じた。
加藤満子会長	事務局が傍聴した千葉県医療的ケア児等支援地域協議会の報告で、千葉県重症心身障害児者を守る会の委員が、調査に協力したのは災害時のことも考えてのことと説明があった。災害に関して、消防署長でもある鈴木委員からも発言をお願いする。
鈴木宏昌委員	本協議会は、各施設の代表の方も、出席していると思うので、災害への日頃からの対応について説明する。消防署は、日頃からの様々な研修会を用意しているので、研修会を利用してほしい。また、日頃は、自助が大切であるが、何かあれば、消防、警察、自衛隊に助けを求めてほしい。
加藤満子会長	その他について、他の委員より発言はあるか。 <委員から発言無し>
加藤満子会長	午後２時４０分、開会を宣言する。 以上